NO.243 NYダウ30種*の変化

2019年3月11日

あおぞら投信株式会社

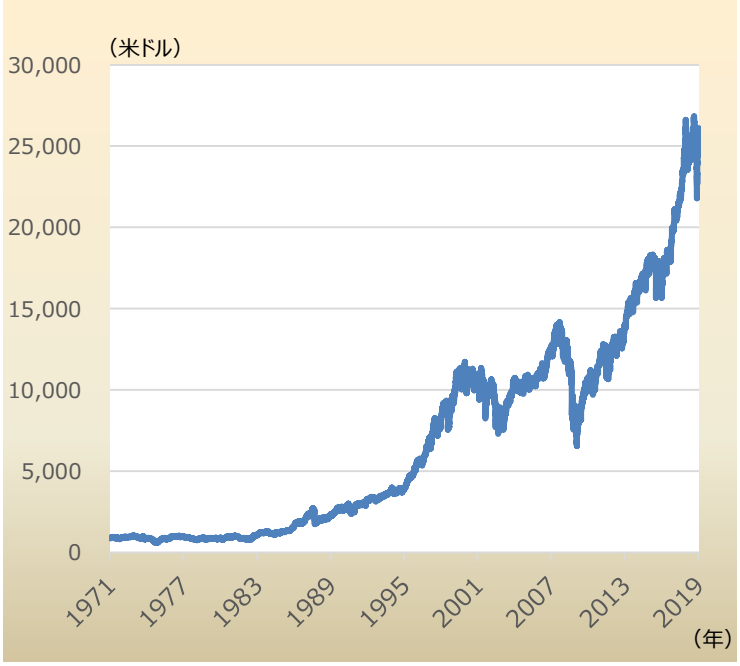
「世の流れ 2次産業から 動き出し 3次を取込み 次なる時代へ」

産業構造の変化は、人々の予想よりも大きいものになることが多いものです。自分が働いている会社がどのように成長していくのか、あるいは衰退していくのかを見通せるとしたら、もしかすると働き方も変わるかもしれません。ただし、長期的な企業の栄枯盛衰を見通すことはそれほど簡単なことではないでしょう。1896年に12銘柄で始まったダウ・ジョーンズ工業株価平均は、米国を代表する企業の株価の指標とされてきました。1928年に現在と同じ30銘柄となり、その後は入替えをしながらここまで来ています。この間、どのような企業が選択されてきたのでしょうか。

1896年の当初から存在していた最後の銘柄であるGE（ゼネラル・エレクトリック）が昨年2018年6月に指数から外れて、1928年の30銘柄となった以降で現在も存在するのは、エクソンモービルだけとなりました。それ以外に長きに亘り採用されている銘柄としては、1932年から採用されているプロクター・アンド・ギャンブル（P&G）、1935年からのダウ・デュポン、1939年からのユナイテッド・テクノロジーズなどがあります。一方、現在の構成銘柄のうち、3分の2以上が過去30年以内に採用された銘柄となっており、1989年のIBM、マクドナルド、アメリカン・エキスプレス、コカ・コーラなど、1999年のジョンソン・エンド・ジョンソン（J&J）、キャタピラー、ウォルト・ディズニーなどグローバル企業が増えています。さらに、ナイキ、ビザ、そして2015年にはアップルが採用され、ゆっくりと米国の産業構造変化を反映させています。もちろん、採用された裏側にはイーストマン・コダック、クライスラーなどの破綻企業の退場もあり、資本市場は自浄作用も持ちながら発展することを改めて示しており、今後の日本の資本市場の展開にも変化があると考えます。

柳谷俊郎

NYダウ30種*の推移（1971年1月末～2019年2月末）と組入30銘柄（2019年3月6日時点）



名称	
ボーイング	マイクロソフト
ﾕﾅｲﾃｯﾄﾞﾍﾙｽ・ｸﾞﾙｰﾌﾟ	アメリカン・エキスプレス
3M	JPﾓﾙｶﾞﾝ・ﾁｪｰｽ・ｱﾝﾄﾞ・ｶﾝﾊﾟﾆｰ
ｺﾞｰﾙﾄﾞﾏﾝ・ｻｯｸｽ・ｸﾞﾙｰﾌﾟ	ﾌﾟﾛｸﾀｰ・ｱﾝﾄﾞ・ｷﾞｬﾝﾌﾞﾙ(P&G)
ホーム・デポ	ウォルマート
マクドナルド	ナイキ
アップル	メルク
ビザ	エクソンモービル
ｼﾞｮﾝｿﾝ・ｴﾝﾄﾞ・ｼﾞｮﾝｿﾝ(J&J)	ｳｫﾙｸﾞﾘｰﾝ・ﾌﾞｰﾂ・ｱﾗｲｱﾝｽ
IBM	ﾍﾞﾗｲｿﾞﾝ・ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝｽﾞ
キャタピラー	インテル
トラベラーズ	ダウ・デュポン
ﾕﾅｲﾃｯﾄﾞ・ﾃｸﾉﾛｼﾞｰｽﾞ	シスコシステムズ
シェブロン	コカ・コーラ
ウォルト・ディズニー	ファイザー

*当資料の中で「ダウ・ジョーンズ工業株価平均」を「NYダウ30種」ということがあります。
出所：S&Pダウ・ジョーンズ・インデックスおよび各種報道を基にあおぞら投信が作成。

本資料は情報の提供を目的としており、何らかの行動を勧誘するものではありません。本資料は信頼できると思われる情報に基づいて作成されていますが、当社はその正確性、完全性を保証するものではありません。ここに示された意見などは、本資料作成日現在の当社の見解であり、事前の予告なしに変更される事もあります。投資信託の取得に当たっては、投資信託説明書（交付目論見書）等の内容を必ずご確認の上、ご自身でご判断ください。
商　号：あおぞら投信株式会社　金融商品取引業者：　関東財務局長（金商）第2771号
加入協会：一般社団法人投資信託協会　ホームページ・アドレス：http://www.aozora-im.co.jp/